

▶上士幌高校 / 3月1日(金)



▶上士幌中学校 / 3月15日(金)



3月4日、上士幌小学校6年生児童の卒業を記念して、熱気球の体験搭乗が行われました。体験登場は2年前から行われており、この日は町職員やボランティアの方が協力し、実施しました。搭乗した児童は熱気球からの眺めを楽しみました。

2・3月の
まちなわだい

2/13 上士幌中学校卓球部 千年さん、山崎さん全国大会へ

第58回大阪国際招待卓球選手権大会(大阪市)へ出場する、上士幌中学校2年の千年颯太さん、山崎航誠さんが竹中町長のもとを訪れ、全国大会への抱負を語りました。

千年さんは「格上の選手と戦って、勝つことが目標」と話し、山崎さんは「強い相手にも食らいついていきたい」と大会での活躍を誓いました。



2/14 上士幌中1年山口さんデザインのスクールバスが納車に

ふるさと納税夢基金を活用したスクールバスが納車され、上士幌中学校にてバスが披露されました。

バスは、上士幌中学校1年の山口遥さんがデザインしたもので、ほろんちゃんが町の名所やシンボルなどを落書きをした様子を表現したものです。

デザインした山口さんは納車されたバスを見て「明るい色が使われていて、想像以上に良いものになった。バスに乗る人が楽しい気持ちになってくれたらうれしいです。」と話していました。



2/13 町と帯広警察署 防犯カメラの運用協定締結

山村開発センターにて、町と帯広警察署が防犯カメラの運用について協定を結びました。

協定は、犯罪の抑止や子どもの見守り強化などを目的として、町内の9か所(10台)に設置されている防犯カメラの映像を事件や事故の際に警察へ提供するためのルールを定めたもので、個人情報やプライバシーの厳格な保護についても記載され、犯罪の早期解決へ役立てるものです。

帯広警察署小西忠人所長は「定められたルールに従い、適切な運用をしていきたい」と話されました。



2/14 長年の活動を称えて 交通安全指導員表彰

交通安全指導員として活動されている、3の2区の松田廣さんと7の1区の田中正利さんが、地域の交通事故防止や安全思想の普及に長年貢献されたとして公益社団法人北海道交通安全推進委員会より表彰され、竹中町長から伝達されました。

表彰されたお二人は「雨の日も風の日も交差点に立って見守りを行うのは大変だが、学校へ元気に登下校する子どもたちの顔を見ることがやりがい。今後も元気に地域のために続けていければ」と話されました。

3/13 幼年消防クラブ修了式

認定こども園年長児33名が所属している、幼年消防クラブ(垂井智クラブ長)の修了式が行われました。

修了式では、一人ひとりに修了証が手渡されたほか、クラブ旗を年中児へ引継ぎました。

垂井クラブ長は「小学生になっても、防火意識を持って、火の取り扱いに十分注意してほしい」と子どもたちに話していました。



3/14 あなたにもできる？ ヒューマンビートボックス

生涯学習センターわかにて、プロのヒューマンビートボクサーのTATSUAKI(タツアキ)さん、fuga(フーガ)さん、ツッキーさんをお招きして「あなたにもできる？ヒューマンビートボックスの世界」が開催され、約100名の町民が参加しました。

ヒューマンビートボックスは、楽器を使わずに人間の発声器官でさまざまな音を奏でるものです。この日、レクチャーを受けた子どもたちと講師のセッションなども行われ、会場は大盛り上がりでした。

参加した子どもからは「カッコよかったし、真似してみたいと思った」との感想が聞かれました。

地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 地域とともに

記: 社会教育推進員 明石 穂乃香



『上士幌学』(上士幌高校3年選択教科)は、かみしほろ学園連携教育委員会が進めている「ふるさと学習」のこども園から高校まで一貫性をもった取り組みの頂点で、地域の皆様のご協力のもと、上士幌について理解を深めています。昨年度受講した生徒からは「上士幌を楽しく体験でき、魅力を知ることができた」「上士幌特有の良さがあることを実感した」などの声が聞かれ、上士幌町に愛着を持った様子が見えられました。関わっていただいた皆様、ありがとうございました。

また、上士幌町のCS(コミュニティ・スクール)は、今年度で4年目を迎えます。昨年度はこども園に加え上士幌高校にも学校運営協議会が設置され、こども園から小学校、中学校、高校までの一貫の流れで「地域とともにある学校づくり」が進められています。

「できる人ができる時にできる事を」をコンセプトにした「ゆめ育」応援団の方々には、あいさつ運動や授業等で実際に子どもたちと関わっていただいております。上士幌町CSには欠かせない存在になっています。そんな「ゆめ育」応援団の一員に、あなたもありませんか？気張る必要はありません。あなたの子どもたちに対する想いがカギになります。子どもたちが「上士幌町でよかった」と思えるように、地域丸丸となって応援していきたいと思っています。皆様からのご連絡、楽しみにしております。



▲上士幌学(音更川流域にて水生昆虫の調査)



▲上小あいさつ運動

2/14 全道大会出場 上中ソフトテニス部

全道選抜中学校ソフトテニス研修大会へ出場する、上士幌中学校2年の横内悠菜さん、長屋真央香さんペアと松岡和花さん、石川琴さんペアが教育委員会を訪れ、大会への抱負を語りました。

大会へ臨む4選手からは「全道で戦える良い機会なので、勝利するために練習の成果を十分に発揮したい」と抱負を語りました。



2/20 全国大会の結果を報告 上士幌中学校スケート部

2月2日から5日に行われた、平成30年度全国中学校体育大会、第39回全国中学校スケート大会に出場した、上士幌中学校3年の泉田真愛さんと2年の有坂優宏さんが教育委員会を訪れ、大会の結果を報告しました。

女子500mと1000mに出場し、1000mで決勝進出を果たした泉田さんは「中学最後の大会で自分の力を出し切れました。」と結果を報告し、男子1000mと1500mに出場した有坂さんは「楽しんで滑ることができた。この経験を来年につなげたい」と大会を振り返りました。

3/4 商工会が商店街の振興計画を策定

上士幌町商工会(小寺友之会長)は、かねてから進めてきた「上士幌町商店街振興計画」の策定完了を竹中町長へ報告しました。

この計画は、少子・高齢化などで厳しい環境にある商店街を活性化させようと商工会などが中心となり進めてきた計画で、将来にわたって持続的に発展する商店街の実現を目指して「地域に愛される商店街づくり」「人を呼び込む商店街づくり」「次世代につなぐ商店街づくり」を基本コンセプトとして、空き店舗対策や事業継承などを盛り込み計画を策定しました。

小寺商工会長は「ナイトイレラスや道の駅の整備が進むなか、観光客が商店街に留まってもらう必要がある。地域の方にとっても魅力ある商店街になるきっかけになれば」と話されました。



3/11 商工会女性部がお守り寄贈

上士幌町商工会女性部(森岡庸子部長)が教育委員会を訪れ、手作りの交通安全のお守りを小堀教育長へ手渡しました。

お守りの贈呈は昭和52年から毎年続けられているもので、交通安全の文字とほろんちゃんがデザインされており、新小学1年生へ入学式の際に配布される予定です。森岡部長は「入学する1年生が交通事故に遭わず、楽しい学校生活を過ごしてほしい」と話されました。

川柳

今わかる親の気苦勞深謝の念
暖房を点けるか迷う午後の二時

石 四
戸 児
の
光 父

短歌

悼 富永汀見子
けさすでに君は亡きかな朝の飯つめたく汁を独り啜りつ
雪ちらと舞ひしが止めば午後の空うつすら明るみひろごりきたる
晩学の短歌は一年立ちたるに未だ雲間にもまれてゆれて
平成の時代は終わる寂しさよ新元号は何になるのか
雪とけて晴ればれ歩く朝の道いつも通いし道を急いで
週末にカートいっぱいのお買物人混みの中母生き生きと
忙しくアイスクリーム製造をしている母と留守番するべく
風呂上り歩いて帰る宵の街見上げる空に流れ星一つ
次回行く自病の検査思いつつ雪残る外を見下ろして立つ
十六夜のスーパームーンは如月の寒夜を照らしわが街照らす

石 米 中 高 松 鈴 米 尾 本
川 森 村 木 田 木 森 野 間
裕 博 仁 誠 理 真 よ し 栞
子 樹 志 也 恵 豊 弓 乃 風

♡ご 結 婚 (敬称略)

名 前 住 所 婚姻日
村田 侑也/小嶋 萌々子 2区 2/25

平成31年 2 月末現在の 人口

男 性 2,435人(+1人)
女 性 2,562人(+6人)
人 口 4,997人(+7人)
世帯数 2,538世帯(+6世帯)

平成 30年度 ふるさと納税寄付金

2 月分 1,269 件
23,023,620 円

累計 115,348 件
1,971,107,165 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をして
いただき心より感謝を申し上げます。
※3月15日現在



◎ 4月1日の新元号の発表まであとわずかとなりました。1か月後の5月からは新元号に変わりますが、みなさんどんな元号に変わるとお思いますか?全く想像がつかないですね。ご家族やご友人と元号予想をしてみてください面白かもしれません。…M

◎ 4月に広報担当に異動してから1年が経ちました。早いものです。土日はイベントで飛び回り、平日は紙面づくりに追われ、あっという間の1年間でした。広報作りを通してカメラを学べたのも良い経験です。未熟な紙面も多々あったかと思いますが、皆さまのおかげで何とか1年間作りきることができました。今まで本当にありがとうございました。…T

広報 かがみしほろ 5月号は 4月25日(木) 発行 予定

上士幌高校です!

文責:教頭

No. 12
平成31年
3月25日

TITLE:ずっと支えられています。今までも、これからも。



3月1日(金)の第56回卒業式に先だって、2月28日(木)に同窓会入会式が行われました。冒頭で同窓会会長の杉山幸昭様から温かな歓迎の言葉をいただき、続いて卒業生代表の丹羽祐太さんが同窓会への入会を力強く宣言しました。同窓会から卒業記念品として印鑑が贈られたあと、同窓会事務局長の大友禮子様から上士幌高校と同窓会の歴史が卒業生に伝えられました。

また、卒業式では上士幌町教育委員会教育長の小堀雄二様と本校PTA会長の内海美千代様から、新しい世界へ巣立つ卒業生へ温もりのある励ましのメッセージを頂戴しました。そして、上士幌高校振興会会長の菅原慎一様を始めとする16名の来賓の方々が卒業証書授与を温かく見守ってくださいました。

上士幌高校が、そして上士幌高校の生徒たちがたくさんをサポートに支えられていると改めて強く感じた2日間でした。

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

同友会面接がありました

文責 武井 隆史

2月9日、2年生は「とかち中小企業家同友会」に加盟する経営者の皆さんに来校していただき、就職希望者と面接練習をしました。

私は「経営者」というからすごく怖い人が来るのかと思い緊張しましたが、大沢商会の及川さんは結構明るく面白い人で安心しました。そして高校入試の面接とは全然違うので、のんびりしてられないなという実感も持ち、もうすぐ自分も3年生になるので気を引き締めていかなきゃいけないと思われた行事でした。

最後に、放課後「面接してくれた方は社長さんでしょ?」と顧問の先生に聞かれ「いや、代表取締役って言ってました」と答えたら「それは社長だ!」とツッコまれてしまいました。



△緊張の面持ちで面接に臨む2年生たち